

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 丸文株式会社
 コード番号 7537 URL <http://www.marubun.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 敬司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岩元 一明
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 03-3639-3010

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	157,166	—	458	—	△282	—	△973	—
20年3月期第3四半期	185,453	△8.7	3,336	△23.0	2,995	△33.2	1,395	△49.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△37.24	—
20年3月期第3四半期	51.97	51.96

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	108,341	—	35,866	—	30.4	—	1,258.07	—
20年3月期	117,338	—	38,046	—	29.8	—	1,339.15	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 32,882百万円 20年3月期 34,994百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	12.00	—	6.00	18.00
21年3月期	—	8.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	△18.5	50	△98.6	△850	—	△1,420	—	△54.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 28,051,200株 20年3月期 28,051,200株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,914,102株 20年3月期 1,919,613株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 26,135,523株 20年3月期第3四半期 26,843,625株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の配当予想につきましては、平成20年11月7日に公表いたしました内容から変更しております。詳細につきましては、平成21年2月6日付の「平成21年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。
2. 上記の業績予想につきましては、平成20年10月20日に公表いたしました内容から変更しております。詳細につきましては、平成21年2月6日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。
3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記2に係る業績予想の具体的な修正内容は、「3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
4. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

文中の前年同期比増減率は参考として記載しております。

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）におけるわが国の経済は、米国発の金融危機により円高・株安が進行するとともに、その影響が実体経済に急速に波及し、輸出・生産が大幅に減少、設備投資も低調で個人消費も弱含むなど、景気は急激に悪化しました。また、世界の経済も、米国や欧州地域での景気の後退に加え、アジアでも景気が減速し、厳しい情勢となりました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、消費低迷の影響を受けて薄型テレビやデジタルカメラの価格下落に拍車がかかり、携帯電話も買い替えサイクルの長期化で市場が縮小、カーエレクトロニクス市場も自動車の生産調整により需要が低迷しました。半導体市場は、各種電子機器の需要の減退に加えて、在庫圧縮の動きが顕著となり、市況が急激に悪化しました。

こうした状況の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、半導体需要の減少により前年同期比15.3%減の157,166百万円となりました。

営業利益は、売上の減少要因に加えて、急速な円高の進行に伴い売上原価に計上している在庫評価損が増加したため、前年同期比86.3%減の458百万円となりました。

経常損益は、為替差損560百万円を計上し、282百万円の経常損失（前年同期は2,995百万円の経常利益）となりました。

四半期純損益は保有株式の株価下落によって特別損失に投資有価証券評価損462百万円を計上し、973百万円の四半期純損失（前年同期は1,395百万円の四半期純利益）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

（デバイス事業）

デバイス事業は、携帯電話モジュール向けの半導体が増加したものの、ゲーム機向け半導体が大幅に減少し、景気低迷の影響を受けて産業機器向けや携帯電話向け、OA機器向け等の半導体、電子部品の需要も減少しました。その結果、売上高は前年同期比16.9%減の132,578百万円、営業利益は売上の減少及び在庫評価損の増加により、前年同期比49.5%減の2,554百万円となりました。

（システム事業）

システム事業は、人工衛星搭載用部品などの航空宇宙機器の売上が大幅に増加したものの、医用機器や科学機器が減少し、レーザ機器も低調なまま推移しました。その結果、売上高は前年同期比4.8%減の24,588百万円、営業利益は前年同期比17.2%減の631百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

（日本）

日本は、航空宇宙機器や携帯電話モジュール向け半導体の売上が増加したものの、半導体及び電子部品の全般的な需要減により、売上高は前年同期比13.3%減の117,667万円、営業利益は前年同期比54.5%減の1,946百万円となりました。

（アジア）

アジアは、ゲーム機向けや携帯電話向けの半導体が減少し、売上高は前年同期比20.5%減の39,499百万円、営業利益は18.2%減の1,227百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

文中の前年同期比増減率は参考として記載しております。

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期における総資産は、108,341百万円となり、前連結会計年度末比8,996百万円の減少となりました。その主な要因は、流動資産が前連結会計年度末に比べ9,366百万円減少（主として現金及び預金が1,156百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が10,389百万円減少）したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ6,817百万円減少し、72,475百万円となりました。主な要因は、流動負債が前連結会計年度末に比べ7,210百万円減少（主として短期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金が9,783百万円減少）したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,179百万円減少し、35,866百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1,339百万円、評価・換算差額等が777百万円、少数株主持分が68百万円減少したことによるものであります。

(2)連結キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、7,708百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,156百万円の増加となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は186百万円となりました。これは、主に仕入債務の減少が9,238百万円あった一方で、売上債権が9,617百万円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は88百万円となりました。これは、主に有形固定資産の売却による収入が139百万円あった一方で、有形固定資産の取得による支出が184百万円、無形固定資産の取得による支出が165百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は1,376百万円となりました。これは、主に配当金の支払額が343百万円あった一方で、短期借入金の純増加額が1,838百万円あったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

文中の前年同期比増減率は参考として記載しております。

平成20年度の経済見通しにつきましては、世界的な金融危機の深刻化や景気の下振れ懸念、為替変動の影響などにより、当面悪化が続くものと思われまます。

半導体市場につきましても、需要の減少及び在庫調整の局面が続くと見られ、非常に厳しい市場環境が続くものと予想されます。

このような環境のもと、当社グループの業績は、システム事業では航空宇宙機器や科学機器の増加を見込んでいるものの、医用機器やレーザ機器の売上が減少し、デバイス事業においては景気減速による全般的な需要の減少が見込まれます。また、円高進行に伴う在庫評価損や為替差損の増加、株価下落による投資有価証券評価損の計上により、通期の業績は、売上高200,000百万円(前期比18.5%減)、営業利益50百万円(前期比98.6%減)、経常損失850百万円(前期は2,956百万円の経常利益)、当期純損失1,420百万円(前期は889百万円の当期純利益)となる見込みであります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 当第1四半期連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告18号)を適用し、連結決算上必要な修正をしております。これによる損益に与える影響はありません。

3. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,608	7,451
受取手形及び売掛金	51,147	61,536
有価証券	11	17
商品	30,539	30,978
仕掛品	70	25
繰延税金資産	945	1,875
その他	3,764	2,552
貸倒引当金	△63	△48
流動資産合計	95,024	104,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,341	4,492
減価償却累計額	△2,631	△2,674
建物及び構築物（純額）	1,710	1,817
機械装置及び運搬具	30	31
減価償却累計額	△28	△28
機械装置及び運搬具（純額）	2	3
工具、器具及び備品	2,245	2,215
減価償却累計額	△1,526	△1,388
工具、器具及び備品（純額）	719	827
土地	2,528	2,546
リース資産	7	—
減価償却累計額	△0	—
リース資産（純額）	6	—
建設仮勘定	6	0
有形固定資産合計	4,973	5,195
無形固定資産		
のれん	179	272
ソフトウェア	749	750
その他	73	69
無形固定資産合計	1,002	1,093
投資その他の資産		
投資有価証券	1,325	2,130
繰延税金資産	2,028	441
投資不動産	3,094	3,128
減価償却累計額	△1,854	△1,826
投資不動産（純額）	1,240	1,301
その他	2,747	2,786
投資その他の資産合計	7,341	6,659
固定資産合計	13,317	12,948
資産合計	108,341	117,338

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,950	34,734
短期借入金	36,594	34,919
未払法人税等	124	67
繰延税金負債	—	2
賞与引当金	489	936
その他	3,287	1,997
流動負債合計	65,447	72,658
固定負債		
社債	1,193	1,217
新株予約権付社債	4,000	4,000
繰延税金負債	—	5
退職給付引当金	1,003	620
役員退職慰労引当金	553	528
その他	276	261
固定負債合計	7,027	6,633
負債合計	72,475	79,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	22,585	23,924
自己株式	△1,629	△1,634
株主資本合計	33,523	34,857
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△44	173
繰延ヘッジ損益	△226	△43
為替換算調整勘定	△370	6
評価・換算差額等合計	△641	136
少数株主持分	2,984	3,052
純資産合計	35,866	38,046
負債純資産合計	108,341	117,338

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	157,166
売上原価	142,532
売上総利益	14,634
販売費及び一般管理費	14,176
営業利益	458
営業外収益	
受取利息	26
受取配当金	33
持分法による投資利益	165
投資不動産賃貸料	164
雑収入	110
営業外収益合計	500
営業外費用	
支払利息	454
為替差損	560
雑損失	227
営業外費用合計	1,242
経常損失(△)	△282
特別利益	
固定資産売却益	95
投資不動産売却益	7
特別利益合計	102
特別損失	
固定資産除売却損	4
投資有価証券評価損	462
投資不動産除売却損	0
特別損失合計	466
税金等調整前四半期純損失(△)	△646
法人税等	38
少数株主利益	288
四半期純損失(△)	△973

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	49,740
売上原価	45,722
売上総利益	4,018
販売費及び一般管理費	4,631
営業損失(△)	△612
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	12
持分法による投資利益	48
投資不動産賃貸料	54
雑収入	32
営業外収益合計	154
営業外費用	
支払利息	151
為替差損	481
雑損失	73
営業外費用合計	707
経常損失(△)	△1,165
特別損失	
固定資産除売却損	1
投資有価証券評価損	302
特別損失合計	304
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,469
法人税等	△290
少数株主利益	163
四半期純損失(△)	△1,342

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△646
減価償却費	543
のれん償却額	81
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18
賞与引当金の増減額(△は減少)	△446
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	24
退職給付引当金の増減額(△は減少)	372
受取利息及び受取配当金	△60
支払利息	454
為替差損益(△は益)	134
持分法による投資損益(△は益)	△39
固定資産売却益	△95
投資不動産売却損益(△は益)	△7
投資不動産賃貸料	△164
投資不動産除却損	0
投資有価証券評価損益(△は益)	462
固定資産除売却損	4
売上債権の増減額(△は増加)	9,617
たな卸資産の増減額(△は増加)	90
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,238
その他	△335
小計	768
利息及び配当金の受取額	59
利息の支払額	△353
法人税等の支払額	△561
法人税等の還付額	272
営業活動によるキャッシュ・フロー	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△184
有形固定資産の売却による収入	139
無形固定資産の取得による支出	△165
投資有価証券の取得による支出	△16
投資不動産の売却による収入	23
投資不動産の賃貸による収入	166
貸付金の回収による収入	2
その他	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	4,222
短期借入金の返済による支出	△2,384
社債の償還による支出	△24
自己株式の売却による収入	5
配当金の支払額	△343
少数株主への配当金の支払額	△98
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	△318
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,156
現金及び現金同等物の期首残高	6,551
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,708

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	デバイス事業 (百万円)	システム事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	132,578	24,588	157,166	—	157,166
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	13	15	△15	—
計	132,580	24,602	157,182	△15	157,166
営業利益	2,554	631	3,186	△2,727	458

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	117,667	39,499	—	157,166	—	157,166
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	8,141	1,613	—	9,755	△9,755	—
計	125,809	41,112	—	166,921	△9,755	157,166
営業利益	1,946	1,227	△3	3,169	△2,711	458

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	44,094	130	44,225
II 連結売上高（百万円）	—	—	157,166
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	28.1	0.1	28.1

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～12月31日)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
区分	金額 (百万円)	
I 売上高		185,453
II 売上原価		168,083
売上総利益		17,369
III 販売費及び一般管理費		14,032
営業利益		3,336
IV 営業外収益		
1. 受取利息	30	
2. 受取配当金	33	
3. 持分法による投資利益	173	
4. 投資不動産賃貸収入	164	
5. 固定資産賃貸料	36	
6. 為替差益	25	
7. 雑収益	78	541
V 営業外費用		
1. 支払利息	499	
2. 投資不動産賃貸費用	95	
3. 売上債権売却損	176	
4. 雑損失	110	882
経常利益		2,995
VI 特別利益		14
VII 特別損失		92
税金等調整前四半期純利益		2,917
法人税等		1,240
少数株主利益		281
四半期純利益		1,395

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,917
減価償却費	795
のれん償却額	78
貸倒引当金の増加額	7
賞与引当金の減少額	△441
役員退職慰労引当金の増加額	20
退職給付引当金の減少額	△28
受取利息及び受取配当金	△63
支払利息	499
為替差損	15
持分法による投資利益	△60
固定資産売却益	△6
投資有価証券売却損	0
投資不動産売却益	△7
投資不動産賃貸収入	△164
投資不動産賃貸費用	95
固定資産売却及び除却損	69
売上債権の減少額	3,503
たな卸資産の減少額	2,853
前渡金の減少額	1,188
仕入債務の減少額	△2,728
その他	1,755
小計	10,298
利息及び配当金の受取額	64
利息の支払額	△386
法人税等の支払額	△2,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,910

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△410
定期預金の払戻による収入	650
有形固定資産の取得による支出	△415
有形固定資産の売却による収入	125
無形固定資産の取得による支出	△54
投資有価証券の取得による支出	△20
投資有価証券の売却による収入	0
投資不動産の売却による収入	24
投資不動産の賃貸による収入	167
投資不動産の賃貸に伴う支出	△51
貸付による支出	△12
貸付金の回収による収入	7
その他	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	13,996
短期借入金の返済による支出	△20,056
社債の償還による支出	△24
自己株式の取得による支出	△694
自己株式の売却による収入	10
配当金の支払額	△780
少数株主への配当金の支払額	△71
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,620
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
V 現金及び現金同等物の増加額	256
VI 現金及び現金同等物の期首残高	6,422
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	181
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	6,859

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

	デバイス事業 (百万円)	システム事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	159,636	25,816	185,453	—	185,453
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	17	19	△19	—
計	159,638	25,834	185,472	△19	185,453
営業費用	154,575	25,071	179,663	2,469	182,116
営業利益	5,062	762	5,809	△2,489	3,336

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	135,741	49,711	—	185,453	—	185,453
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	16,433	5,965	—	22,399	△22,399	—
計	152,174	55,677	—	207,852	△22,399	185,453
営業費用	147,901	54,176	3	202,081	△19,965	182,116
営業利益	4,273	1,500	△3	5,770	△2,434	3,336

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	51,852	537	52,389
II 連結売上高（百万円）	—	—	185,453
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	28.0	0.3	28.2

「参考」

四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,742	1,800
受取手形及び売掛金	35,245	40,439
有価証券	11	17
商品	21,720	23,379
未収還付法人税等	—	171
その他	3,933	3,542
貸倒引当金	△29	△13
流動資産合計	63,624	69,337
固定資産		
有形固定資産	3,821	3,996
無形固定資産	874	901
投資その他の資産	10,007	9,182
固定資産合計	14,704	14,080
資産合計	78,328	83,418

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,729	15,694
短期借入金	30,400	31,000
引当金	346	661
その他	2,781	1,528
流動負債合計	45,257	48,885
固定負債		
社債	1,000	1,000
新株予約権付社債	4,000	4,000
引当金	1,324	943
その他	257	240
固定負債合計	6,582	6,183
負債合計	51,839	55,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	15,811	17,359
自己株式	△1,629	△1,634
株主資本合計	26,750	28,293
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△34	100
繰延ヘッジ損益	△226	△43
評価・換算差額等合計	△261	56
純資産合計	26,489	28,349
負債純資産合計	78,328	83,418

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	105,152
売上原価	95,458
売上総利益	9,694
販売費及び一般管理費	10,631
営業損失(△)	△937
営業外収益	
受取利息	41
受取配当金	356
投資不動産賃貸収入	164
その他	101
営業外収益合計	664
営業外費用	
支払利息	357
その他	513
営業外費用合計	871
経常損失(△)	△1,143
特別利益	
固定資産売却益	95
投資不動産売却益	7
特別利益合計	102
特別損失	
固定資産除却損	3
投資有価証券評価損	459
その他	0
特別損失合計	463
税引前四半期純損失(△)	△1,503
法人税等合計	△321
四半期純損失(△)	△1,182

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△1,503
減価償却費	491
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△314
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	21
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	360
受取利息及び受取配当金	△398
支払利息	365
固定資産売却益	△95
投資不動産売却益	△7
投資不動産賃貸収入	△164
投資有価証券評価損	459
固定資産除却損	3
売上債権の増減額 (△は増加)	5,194
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,659
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,954
その他	△384
小計	1,747
利息及び配当金の受取額	397
利息の支払額	△258
法人税等の支払額	△172
法人税等の還付額	194
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,909

(単位：百万円)

当第3四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△157
有形固定資産の売却による収入	139
無形固定資産の取得による支出	△159
投資不動産の売却による収入	23
投資有価証券の取得による支出	△7
投資不動産の賃貸による収入	166
投資不動産の賃貸に伴う支出	△52
その他	2

投資活動によるキャッシュ・フロー △45

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済による支出	△600
自己株式の売却による収入	5
配当金の支払額	△348
その他	△0

財務活動によるキャッシュ・フロー △944

現金及び現金同等物に係る換算差額 23

現金及び現金同等物の増減額(△は減少) 942

現金及び現金同等物の期首残高 1,100

現金及び現金同等物の四半期末残高 2,042

(注) この四半期キャッシュ・フロー計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。